来年3月閉校

白山高校よ永遠に

最後の3年生からメッセージ

白山高校よ永遠に――と、来年三月で閉校する白山高校の三年生百五十五人が、さる十一月二日、市役所を訪れ、本間芳之教育長に感謝のメッセージを手渡しました。

市役所中庭でメッセージを読み上げる中沢勝生徒会副会長

同校は、市立工業高校との統合のため、来年三月で閉校します。恒例の文化祭も今年で最後、何か記念に残るものをやろうということになり、文化祭の行事の中に市中パレードを加え、白山の名前をアピールすることにしました。「白山高校の名前を忘れてほしくなかった。それに、今まで暖かい声援を送ってくれた市民の皆さんにも、感謝の気持ちを表わしたかった」と、中沢勝同校生徒会副会長。

文化祭の十一月二日には、三年生全員が、胸に赤い文字で「FOREVER HAKUSAN（白山高校よ永遠に）」と書かれた、おそろいのTシャツ姿で市中パレード。県民会館から新潟駅まで、降りしきる雨の中を、びしょぬれになって行進しました。

途中、市役所へも立ち寄り中庭で、本間教育長を囲んで感謝のメッセージを読み上げ全員で「ハクサン」の校名の大合唱を行い、白山高校の閉校を惜しみました。

昨年四月、市立工業高校と同白山高校の全日制を統合し、市立高志高校（姥ケ山一二四〇）が開校しました。このため、市立工業高校と白山高校の両校は、昭和五十五年度から生徒募集を停止しました。来年三月で、三十三年間の歴史の幕を閉じます。

クローズアップ

即興音楽の公演を企画準備する
新潟MMD実行委のメンバー
田辺美和子さん（上新栄町）

即興による音楽表現を独自に追求している二人の国際的即興アーチスト田中泯（ダンス）、ミルフォード・グレイブス（下ラム）、デイレク・ベイリー（ギター）が初共演するコンサートが二十日開かれる。この即興表現に共鳴し、公演を新潟で、と企画準備したグループがある。その名は新潟MMD実行委員会。アーチスト二人の頭文字をとって名付けられた。そのメンバーの一人が田辺さん。

「代表者は置いていないんです。私が暇なものだから……会の窓口的役割りを果たしているだけ」子供っぽい笑いがこぼれる。「公演は採算が合うかどうか。まだ新潟では即興に対する理解が乏しくて」。赤字覚悟だそうだ。

ヨーロッパで踊りと音楽の即興表現にふれたのがそもそものきっかけ。その時「言葉がでてこなかった」という。そしてこの出会いが「即興表現の中には、いろんなものがあふれているようで、自分がいままで発見できなかったものがある」という自分なりの感じ方を深める力となった。

「即興は、形式にこだわらず、その時の自分の心理を表現するもので、きまった感じ方に慣れている生活の中では何か新しいものを表現し、発見できるはずのもの」と田辺さんはその意義を強調する。

そして即興表現の可能性について「形式にこだわらないため、例えば、自閉症の人達が、机をたたき音を鳴らすという行為（これも即興表現）から自分の表現方法を積極的に発見してゆくとか、今まで表現できなかったものを表現できるようになるのではないか」と語ってくれた。

「公演は一つの新しいきっかけ」公演終了後は「自分を含めたメンバー達の、即興にふれた新たな思いを問い直してみたい」こうきっぱりと言う。しかし「無理しない範囲で」と女性らしくつけ加えた。

即興に興味をもった若者達のこれからの新しい文化活動に期待したい。

明るい笑い声があふれる談話室

気楽さがいいですね！
勤労青少年ホーム

市の勤労青少年ホームをご存知ですか。

勤労青少年ホームは、働く若者なら誰でも利用できる施設です。ホームでは、毎日各種講習会やクラブ活動が行われています。また、四季それぞれに、登山やスキー、ハイキングなどの楽しい行事が主催されます。

現在、ホームの登録者は約二千人。二十歳から二十五歳までの若者がいちばん多く集まってきます。講習やクラブ活動のない日でも、会社を終えたあと、ふらりとホームに立ち寄り、話をして帰る人も多く、若者の憩いの場的存在でもあるようです。

書道クラブで活動をしている**桑原広栄さん（曽川）**は、「四、五年前からホームを利用しています。気楽に来れるのがいいですね。字がうまくなることより、仲間と楽しくやることの方を目的にしているなあ。酒を飲みに行ったりスキーや登山なんかをしたり、楽しいですよ」と話していました。

友だちづくりをしたい方、余暇を楽しく過ごしたい方、勤労青少年ホームへ出かけてみませんか。

開館時間　午後一時～九時
休館日　日曜

募集中！
講習生とクラブ員

クラブ名（練習日）
▼バトミントン（水・土、月・水・土）▼拳法（水・金）▼卓球（月・木）▼野球▼バスケット（月・木）▼旅行（水）▼硬式テニス（火）▼釣り（毎月第一・三水）▼書道（火）▼茶道（火）

※問い合わせは、勤労青少年ホーム（☎22―二七二八）へ

〈勤労青少年ホーム〉講習案内

講習会		開始日	曜日	定員	材料費(月)
料理	月曜コース	12・7	毎週月曜	各15人	2,600円 テキスト代200円 計2,800円
	火曜コース	12・1	〃 火曜		
	水曜コース	12・2	〃 水曜		
	金曜コース	12・4	〃 金曜		
生け花	池の坊	12・7	〃 月曜		2,400円
	小原流	12・10	〃 木曜		
	草月流	12・11	〃 金曜		
茶道	裏千家 月曜コース	12・7	〃 月曜		1,500円
	裏千家 木曜コース	12・3	〃 木曜		
	石州流	12・4	〃 金曜		
編物（機械）		12・2	〃 水曜	各10人	1,000円
和裁		12・2	〃 水曜		1,000円
書道（普通、ペン字、ボールペン）		12・4	〃 金曜	各15人	1,500円
救急法		12・1	〃 火曜		500円＋用具実費

時間　午後6時半～8時半
申し込み　現金を添えて、直接勤労青少年ホーム（古町13、☎22―2728）へ。開始月のみ、300円が加算されます。

ごみ問題

違法事業所には指導強化
～市政モニターOBらと調査、意見交換会～

先頃、市、市政モニターOB、町内会役員などが市内二十三カ所のごみ集積所を三日間にわたって実態調査しました。その結果、全体的にはほぼ良好だったものの、食堂などの事業所の集中しているところに問題があり、一回の持ち込み量十㎥を越えるものを市に申告もせずごみ出しをしていた事業所が十カ所もあることがわかりました。

また、先月二十八日に、この実態調査に関連して、先の調査参加者と市関係者の懇談会が実施され、ごみ問題について様々な意見の交換が行われました。

席上、事業所の搬出するごみについて「事業系ごみは自己処理が原則。それが不可能な業者に対しては申し出をしてもらう形で料金を徴収して処理しているが、今後は不公平をなくす意味から指導を強化してゆく」と今回の調査結果をふまえた積極的な発言が市側から出されました。

さらに、ごみ問題を般にわたる熱心な話し合いで、①分別収集が年々悪くなってきているがこれに対して全市民に浸透してゆくような息の長いPRが必要②ごみステーションは自治会個有の財産であるという認識を市民お互いがもってもらいたい――などの貴重な意見が参加者から提案されました。

会員募集

会名	イングリッシュメイツ	話し方同好会
日時	毎週月曜 午後6時～8時	毎月第1・3金曜・午後6時半～8時半
会場	中央公民館	
内容	日常英会話	話し方の基礎
講師	古川登美子氏	佐々木和子氏
会費	1500円（月額）	500円（月額）
申し込み問い合わせ	電話で安達（☎69―5052、夜間のみ）へ	電話で笹倉（☎65―2306）へ

団員募集

	新潟フィルハーモニー合奏団	新潟フィルハーモニー吹奏楽団
練習日	毎週火曜日	毎週日曜日
会場	新潟楽器米山教室	
曲目	「内なる遠さ」ほか	ポップスほか
指揮	近江行（全日本合唱指揮者協会理事・事務局長）	梅山登（常任指揮）
連絡先	五十嵐（☎47―8823）桑枝・打越（☎44―1716）	打越（☎44―1716）※夜

新大吹奏楽部演奏会

日時　11月23日午後2時～
会場　県民会館大ホール
入場料　大人350円（当日400円）、中学生以下は無料

劇団「かもめ」第4回公演「楽屋」

日時　11月26日午後6時45分～
会場　音楽文化会館
入場券　500円
問い合わせ　武居（☎84―6044）※夜間

上映会

「銀座化粧」（成瀬己喜男監督）

日時　11月18日午後6時半～
会場　中央公民館
協力賞　500円
主催　新潟シネマディクトクラブ

必ず「換気」を忘れずに
～11月はガス安全使用月間～

ゴム管の管理と注意点　①ゴム管には熱や油がかからないようにに②古いもの、ヒビ割れたもの、ビニール管は取り替える③長いゴム管は使わない④必ず安全バンドをつける
問い合わせ　ガスもれかなと気づいたら夜中でも北陸ガスへ。新潟（☎28―2131）松浜（☎58―3081）

交通事故相談（無料）

日時　午前9時半～午後4時半（ただし土曜日は正午まで）
場所　新潟自動車保険請求相談センター（☎25―1851、本町通7、興亜火災新潟支店5階、新潟調査事務所内）
※専門の相談員が親身になって相談に応じます。弁護士の相談日は毎週水曜日午後1時～4時

市民税課の職員がおじゃまします

市民税課では、11月24日から12月18日までの間に、一般家庭の小売り抽出して基準調査を行います。市民税課の職員がおじゃますることもありますので、ご協力ください。なお、訪問する職員は、身分証明証を携帯しています。

簿記実務検定試験

期日　1月24日
会場　全国商業高校、商業科併設高校
受験科目　1級（会計、工業簿記）、2・3級（商業簿記）
受験料　各級500円、1級は1科目500円
受験資格　制限なし
申し込み　11月25日までに、受験料と写真を添えて、希望の試験場校へ
問い合わせ　藤本好（新潟商業高校、☎66―0101）へ